

つなげよう・広げよう
美味しいパンで

12月3日から9日までは「障害者週間」です。


町では障がいのあるなしに関係なく、お互いを尊重して支えあい、人としての尊厳をもちながらいきいきと暮らしていくことができる地域社会の実現をめざしています。

この度、官民相互の取組みの一端である農福学官連携事業として、大磯町福祉作業所連絡会（素心会・おおいそ福祉会）、産業能率大学、JA湘南が連携し、地域の農産品のピューレ（ペースト）を使用したオリジナルのパンが完成しました。


オリジナルパンは、産業能率大学情報マネジメント学部の小柴達美教授のゼミ生を中心に取組みが行われ、学生自らが考案した地域振興策として、商品開発・企画から販売活動に至るまでを提案し、実現しました。



産業能率大学内でのパン販売の様子

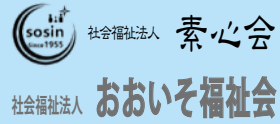


販路を提供することにより、農業者・障がいの者の所得向上に寄与、障がいの者の雇用促進に寄与。




視点をつくる、提言する
産業能率大学

学生が提案した企画案を商品化することで、商品企画から販売活動に至る専門的学習体験と学生の主体的な活動による地域貢献。



地域で生産されたピューレを活用した新作パンづくりをすることにより、販路拡大、障がい者雇用の促進、所得向上。



地域の農家が生産した果樹等を、JA湘南を通してピューレにすることによる農業者の所得向上。



湘南ベルマール試合会場内でのパン販売の様子

新作のオリジナルパンは計5種類で「湘南ゴールドクリームパン」、「湘南いちごクリームパン」、「湘南スイートポテトパン」、「かぼちゃのAnne」、「湘南ロール」があり、役場本庁舎1階ロビーにて、平日12時15分～13時15分まで販売中です。また、産業能率大学キャンパス内や湘南ベルマールの試合に合わせ平塚市総合公園でも販売しています。

町では、持続可能な開発目標（SDGs）の理念に則り、官民相互の取組みを進め、住民サービスの向上と地域社会の活性化に努めていきます。

農福学官事業の
今後について

次の4つに取り組みしていきます。

- ① 障がいをお持ちの方の社会参画の拡充による共生社会の推進
- ② 地域の農産物の有効活用と湘南地区の知名度向上
- ③ 学生の目線からの商品の魅力向上と新作パンの販路拡大
- ④ 農福学官連携による新たな活動の紹介と地域連携の強化



【持続可能な開発目標（SDGs）】

問 福祉課
☎ (73) 4530



パン作製の様子



役場本庁舎1階ロビーでのパン販売の様子